

★ 低温・強風の影響で生育が抑えられたほ場も！  
★ 適切な茎数を確保し、中干しの適期実施を！

### 1 君津地域の生育概況

今年は、4月前半及び4月末から5月初めにかけて低温になりました。そのため、育苗期間については、4月前半は温度が確保しにくく、草丈が低くなっています。

移植後については、4月末から5月初めにかけての低温と5月の強風の影響により、生育のバラつきが見られました。4月中旬までに植えた苗は天候に恵まれ、生育が進んでいる一方で、4月末から5月上旬に植えた苗は一時的な生育停滞があり、平年並みの生育となっています。

5月中旬からは再度気温も上昇しておりましたが、特に5月下旬は高温が予想されるため、4月中旬までに植えたほ場については、茎数が確保されたら、茎数過剰になる前に中干しを開始しましょう。4月末から5月上旬に植えたほ場は、浅水管理を行い、早期の生育や茎数確保に努めましょう。

### 2 生育調査ほの調査結果（5月20日）

品種	年	田植え日	葉令	草丈(cm)	茎数 (/株)	茎数 (/㎡)
ふさおとめ (袖ヶ浦市)	1	4/16	7.7	25	12.7	206
	平年	4/16	7.3	26.0	13.1	198
	平年比	±0	+0.4	96%	97%	104%
ふさこがね (君津市)	1	4/15	7.5	28	15.6	214
	平年 (参考)	4/19	6.4	—	—	—
コシヒカリ (君津市)	1	4/28	5.7	25	11.4	179
	平年 (参考)	4/21	6.4	—	—	—
コシヒカリ (木更津市)	1	5/6	4.0	22	5.4	90
	昨年	5/3	5.4	26	5.3	100

※1 平年値は過去10か年（平成21年～30年）平均値。ただし、君津市のほ場は調査ほ場を変更し、過去との生育比較が困難なため、平年値は参考となります。また、木更津市のほ場は26年から調査を始めたため、平年値はなしとなります。

-郵便で配信している方へお願い-

稲作情報の配信を郵便から、電子メールまたはFAXに切り替えを進めています。  
電子メール・FAXをお使いの方は、下記までご連絡ください。

連絡先 宇津木 i.utsg2@pref.chiba.lg.jp 0438-23-0299（電話）

### 3 これからの管理のポイント

#### ① ほ場ごとに茎数を確認し、中干しの適期実施

茎数過多は玄米品質低下の原因となるので、表1の中干し開始時期の目安を確認し、目標茎数に達し次第、中干しを開始して過剰分げつの発生を抑えましょう。特に、「コシヒカリ」は倒伏を回避するため、中干しは適期に実施しましょう。

目標茎数に達していないほ場では、引き続き浅水管理で茎数確保を図る必要があります。一方、5月下旬は高温が予想され、茎数が急激に増加する可能性が高いため、中干しが遅れないように注意しましょう。

中干しの強さは田面に軽い亀裂が入り、田面を歩いても長靴が沈まない位を目安とします。

表1 品種別の中干し開始時期の目安

品種	植付時期	中干し開始目標茎数		
		砂質土	壤質土	粘質土
ふさおとめ	4月20日	480本/㎡ (27本/株)	480本/㎡ (27本/株)	440本/㎡ (24本/株)
ふさこがね	4月20日	360本/㎡ (20本/株)	360本/㎡ (20本/株)	360本/㎡ (20本/株)
コシヒカリ	4月20日	320本/㎡	310本/㎡	300本/㎡
	5月1日	(18本/株)	(17本/株)	(16本/株)

※ ( ) 内は60株/坪植えの時の1株当たり茎数の目安

※極端な疎植の場合はこの目標茎数に達しないことがあります

#### ② ばか苗病の発生・対策について

「ばか苗病」が種子生産ほ場及びその周辺ほ場で発生すると種子として出荷できなくなります。千葉県内の種子生産ほ場の半分以上は君津地域に存在します。県産優良種子の安定生産のためにも、「ばか苗病」を本田で確認した際には抜き取り及び田んぼから離して処理し新たな感染源とならないよう御協力をお願いします。

#### ③ 稲わらの分解による「ワキ（ガス害）」に注意！

一部のほ場で、「ワキ」による生育障害が見られています。これは、冬場に十分分解しなかった稲わらが気温の上昇とともに分解され、還元状態になった土壌から植物の根に有毒なガスが発生することで生育が停滞するためです。稲は下葉から垂れて黄色くなって、草丈は低く分げつは出にくくなります。

基肥をしっかり入れたにもかかわらず葉色が薄い等の生育停滞が見られる場合には、「ワキ」を疑い、生育障害のある部分に棒などを刺してガスの発生を確認してください。

この対策として、軽く田干し（1～2日間落水）を実施します。地表から水が無くなると、ガスが抜け、根には酸素が補給され、根は地中深く伸びるようになります。

#### ④ （三島ダムの水位低下による渇水への対策として）節水への御理解と御協力を！

5月中旬から下旬の降雨により貯水率は回復しましたが、今後の梅雨の降雨状況により、渇水となる可能性があります。かけ流し防止や漏水防止による節水へのご協力を今後もお願いします。